

ほほえみ

第43号 2018年8月発行



独立行政法人 国立病院機構
七尾病院

〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3番地の1
TEL (0767) 53-1890 (代)
FAX (0767) 53-5771
ホームページ <http://www.nanao-hosp.jp/>



「石崎奉燈祭」橋本義則（七尾美術作家協会会員）

私達の信条

- 私達は、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接します。
- 私達は、国の担うべき医療を提供し、地域に親しまれる病院を目指します。
- 私達は、質の高い医療を提供し続けていくために日々研鑽いたします。
- 私達は、医療の進歩に貢献するために臨床研究を推進します。
- 私達は、互いに協力し、働きがいのある明るい職場作りに努めます。

目次

着任のご挨拶	2
認知症院内デイケア拡大	2
ふれあいイベント	3
第4回能登地区神経・筋難病ネットワーク地域連携の会報告	4
第10回西湊地区「健康教室」を開催して	5

着任のご挨拶



薬剤科長
三井陽二

本年度4月より薬剤科長として着任しました。七尾病院勤務は6年ぶりとなり、今回は新棟が稼働したところまでの6年間勤めておりました。病院職員や患者様など見覚えのある方もおられ、時々気軽に声を掛けていただけてうれしく思っています。薬剤科を含む外来棟も昔のまま懐かしく思っているところではありますが、年末までには新しい外来棟が完成し薬剤科も引っ越しすることとなります。能登半島地震の時に広がった薬剤科事務室の壁のヒビや2階の廊下を歩きながら眺める和倉温泉の風景など見納めになりますが、新しい薬剤科の図面を見ながら少しでも業務が効率的に行えるようにと調剤機器など設備の配置を検討しているところです。業務につきましては、国立病院機構の理念の中に「健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し」とありますように薬剤科として患者様が安心して療養できる環境作りや病院経営に少しずつでも貢献していきたいと考えております。また、個人的には能登地区にもっと薬剤師さんが増えればいいなと考えています。お子様などに薬剤師の仕事に興味のある方がいらっしましたら薬剤科窓口でお声掛け下さい。



診療放射線技師長
前澤 稔

平成30年4月1日付で、七尾病院診療放射線技師長として着任いたしました前澤稔です。

過去には、愛知県、静岡県、三重県に勤務し、今回

初めて石川県に参りました。

前施設等では、主にMRIを専門に担当しておりましたが、こちらにはなく少し寂しく思っています。七尾病院では胸部X線撮影やCT検査が多く、久しぶりのX線業務に毎日汗を流しております。

また、今までは、比較的温暖な地方に居りましたので、寒さや降雪には慣れておらず、昨年の冬の様子をお聞きすると、冬が楽しみ？心配？です。海が好きで、若いころはダイビングのインストラクターをしておりました。七尾は海が近く、毎日海の景色に癒されております。石川県や能登地方については、まだまだ知らないことやわからないことも多く、いろいろと教えていただけると嬉しいです。今後ともよろしくお願いいたします。

七尾病院 認知症院内デイケア拡大

「みんなで支え、持てる力を発揮する!!～チームA(Active)の取組み～」

認知症ケア部会
老人看護専門看護師
田本 奈津恵

5月より認知症院内デイケア「ほほえみサロン」は、毎週火曜日にも追加になり拡大しました。火曜日は閉じこもりや認知症予防を目的とした活動で、内容は体と頭の体操(脳トレ)や新聞記事を読み興味関心があった内容を語りあう、また本人がしたいことをするに取り組んでいます。脳トレでは、両手を使った負けないじゃんけんやなぞなぞが好評で、参加された方は今日のトンは何かな?と楽しみにしています。「なんだぁ」と思うことも多いですがそのような感情を持つことも予防支援では大切です。参加導入時は「行かないといけませんか」と話していた方も毎回必ず参加し、昔を懐かしく思い出したりご自身のことについて話して下さり言葉や笑顔が大変増えました。理学・作業療法士、病棟看護師が協力して行っていますが、これからも職員全員で認知症の予防や認知症患者さまを支えていきたいと思っています。是非お気軽にお立ち寄りください。



ふれあいイベント ～どんたくベイモール店にて開催しました～

副看護師長 山本 吏

5月12日は「看護の日」です。毎年七尾病院では看護の日の前後に、地域の方々と交流をはかるとともに七尾病院を少しでも知っていただきたく思い『ふれあいイベント』を開催しています。今年は5月9日にどんたくベイモール店前にて開催し、健康チェックコーナーを設け、血圧測定や血糖測定、体脂肪、肺年齢や血管年齢が測定できるほか、管理栄養士による栄養相談、さらにはテレビでもベストドクターと紹介された藤村院長や、新しく着任された安井特命副院長による健康相談を実施しました。毎年楽しみにされている方をはじめ七尾病院に通院されている方、買い物にいられた方など、多くの方に足を運んでいただき、笑顔あふれる会場で皆様と楽しく過ごすことができうれしく思っています。

私は、この地域で育ち、小学校はバスを利用し登校していました。そのバスの中で「次は国立七尾病院前～国立七尾病院前～」と毎日のようにアナウンスを聞いていましたが、大人になるまで、七尾病院や、病院へ向かう坂道さえも登ることはありませんでした。その七尾病院で看護師として働くことになり、患者様に寄り添った温かい病院であるこの病院をもっと地域の方々に知っていただき来ていただけるよう、この『ふれあいイベント』を続けていきたいと思っています。また来年もみなさまと笑顔で会えることを楽しみにしています。

今年の11月には外来棟の工事が終了し新しい病院となります。七尾病院職員一同、建物とともに気持ちも新たに、気軽にいつでも相談できる地域に寄り添った病院として、皆様の健康・医療・看護に貢献できるよう努めて行きたいと思っています。



第4回 能登地区 神経・筋難病ネットワーク地域連携の会報告

医療社会事業専門員 近藤 洋平

平成30年6月9日(土) 能登空港 生涯学習センター会議室にて、「第4回能登地区神経・筋難病ネットワーク地域連携の会」が開催され75名の方にご参加いただきました。

当会は2016年7月より、能登中部の恵寿総合病院、公立能登総合病院、七尾病院それぞれの神経内科が主体となり実施しているもので、医師、歯科医師、看護師、介護士、ヘルパー、リハビリスタッフ、薬剤師、ケアマネジャー、ソーシャルワーカーなどの多職種を対象とし、神経筋難病患者の医療・介護の向上のためのネットワークをつくる目的で開催されているものです。

一般演題1は「神経筋難病患者の外出支援について」と題して当院医療社会事業専門員の上田竜也が行いました。長期入院されている方の事例を元に外出支援のポイントについて話がありました。本人・家族の希望の確認や家族のサポートに関して(どこまで家族が支援できるのかの確認や見極め)確認が必要なことや、外出時に必要な医療機器の準備や医療ケアや介助の手技練習などがポイントとして挙げられていました。他にも安心して外出ができるように社会資源と結び付けることや外出に関して関係者が同じ思いを共有していくことが重要という話がありました。

引き続き一般演題2では「みんなもできる!!呼吸リハビリテーション」と題して当院リハビリテーション科副理学療法士長の楠川敏章と理学療法士の清水悠輝が行いました。神経・筋難病の呼吸障害の特徴について触れながら、実際にレクチャーを踏まえて会場の全員でリハビリテーションの実践をしました。どれも短時間で動作も容易なものが多く、手軽にできる呼吸器リハビリテーションであり会場全体がにぎやかで楽しい雰囲気となりました。

最後はレクチャーとして当院副院長横地英博医師より「パーキンソン病について」と題し、パーキンソン病の症状や診断に関すること、投薬内容やリハビリテーションの方法に関して話がありました。日本には約20万人のパーキンソン病患者がいることや、パーキンソン病と認知症との関連性が高いとの話もありました。

講演会終了後のアンケートでは、「要点が明確で多職種対象の研修としてよかった」「また参加させていただきたい」など多数好評のお声をいただきました。第5回は今年度中に開催予定です。今後も神経筋難病の方を支援する皆様のお役に立てるような情報を発信していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



呼吸器リハビリテーションについて指導を行う会場の様子

第10回西湊地区「健康教室」を開催して

医療社会事業専門員 坂本 千夏子

平成30年7月28日(土)、西湊地区コミュニティーセンターにて、健康教室を開催しました。看護師による酸素飽和度、血圧、血糖値、体脂肪率、血管年齢測定と理学療法士・作業療法士による転倒注意度のチェックを始め、医師による相談、その後講演が行われました。

第1演題は診療部長の陳文筆による『胃がんについて』です。まずは、胃がんの統計より、胃がんは日本人が最も多く罹るがんと言われ、早期発見のためにも検診を勧めて頂きました。次に、胃がんは、胃の壁の最も内側にある粘膜内の細胞が、様々なリスク要因によってがん細胞になり、無秩序に増殖を繰り返すことで生じます。1994年にWHO（世界保健機関）は、ヘリコバクターピロリ菌を「確実な発がん因子」と認定し、胃がんとピロリ菌は密接に関係しているようです。そして、胃がんの治療は、手術（外科治療）、内視鏡治療、薬物療法（化学療法）の3つが中心になり、治療法は「病期（ステージ）」に基づいて決まります。最後に、「ピロリ菌に感染している場合は、定期的な胃の検診を行いましょう」、「40歳を超えたら、一度胃内視鏡検査を受けてみましょう」、「胃がん予防には、禁煙、減塩、野菜、果実の摂取を積極的に行いましょう」と改めて呼びかけて頂きました。

第2演題は、副理学療法士長の楠川敏章による『メタボ・転倒予防について』です。はじめに、転倒の原因と健康チェック時の片足立ち測定の評価として、「まだまだこれくらいできている方や、自分自身の身体の変化を認めていない方が危ない！」と注意を促され、ドキッとした方が多かった様子です。次に、転倒対策として、「運動・体操を継続」、「認知症を予防」、「健康と環境に気を配りましょう」と呼びかけられました。また、転倒しやすい場所のチェックの合い言葉、ぬ：濡れている所は滑りやすい、か：階段・段差があるところは転びやすい、づけ：片付けてない部屋は躓き易い、という「ぬ・か・づけ」を教えてくださいました。そして、メタボリックシンドロームを「生活習慣病の一手手前の段階」とわかりやすく言い換え、その対策として、先ずは腹八分目を目指すこと、毎日或いは定期的に汗をかくが会話は出来る程度の運動を20分以上継続して行うことを推奨されました。毎日のウォーキングや水中歩行は効率が良く安全であることからプールでの運動が良いことも教えてもらいました。また、講師より本日一押し、脂肪を燃やし、腿の付け根や筋肉を鍛えることで転倒予防効果もある「インターバルウォーキング」の紹介を受けました。最後に、「手遅れになる前に、生活習慣病にならないような食事や運動を続けてみましょう。転倒予防にせよメタボ予防にせよ、継続して運動を行うのが大切ですが、くれぐれも安全第一で、最初の一步を踏み出し、何かを始めることが大事。」と締め括られました。

日頃から健康づくりに興味・関心をお持ちの住民の皆様、ありがとうございました。



職員募集!

言語聴覚士を募集しています

問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構七尾病院
(0767) 53-1890 (内線1104)

ご希望の方は、お気軽にご連絡ください。

外来診療担当医表

外来受付時間 8:30~16:00

診療時間 8:30~17:00

区分・時間	月	火	水	木	金	
呼吸器内科	午前	藤村 (AM:初診のみ)	藤村 (AM:初診のみ) 安井	藤村 土島	藤村 (AM:初診のみ) 安井	
	午後	藤村	藤村	佐久間	土島	安井
神経内科	午前	横地	横地	横地	森永	森永
	午後	横地	横地	横地	森永	森永
消化器内科	午前	陳	陳	陳	陳	陳
	午後	陳	陳	陳	陳	陳
内科	午前	横地	橋井	陳	森永	堂下
	午後	横地	橋井	陳	森永	堂下
小児科	午前	泉	泉	押切 (急患のみ)	押切 (急患のみ)	押切
	午後	押切	押切	泉	泉	泉
内科(皮膚)	午前	山口	藤村 ^啓 10:30~15:00	藤村 ^啓	宮森	二ツ谷
		[AM]の診療時間は、10時30分~12時00分となります。				
ペインクリニック内科	午前	高澤	高澤	松島		松島 (隔週)
	午後			高澤	高澤	高澤
循環器内科	午前					安田

※初めて外来診察を希望される方は、お手数でも事前に当院外来受付まで連絡願います。TEL 0767-53-1890(代表)

※小児期の予防接種はじめ各種予防接種を行っております。

病院概要

■医療法病床 239床

■標榜診療科

内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、小児科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科



案内図



JR七尾線「七尾駅」下車
→北鉄バス【和倉温泉行】にて
(3.7km./約15分)七尾病院前下車
→徒歩5分(500m.)

※平日の午前中は坂下まで
病院バスの送迎あり



編集後記

近藤です。七尾に来て2年目になりました。今年は見にいきたいな~と思っていた石崎の奉燈祭ですが予定があり行けず…。しかし見られたじゃないですか!見事な表紙の写真!熱気が伝わってきますね!七尾美術作家協会会員の橋本義則さんの作品です。

医療社会事業専門員 近藤 洋平